

東京女子大学学長 湊 晶子様

5月28日の小ホールにおける学生説明会では、お帰りの際ぶしつけに横合いから封書をお渡しして、失礼申し上げました。少し驚かれたご様子だったので申し訳ないことをしたと思っておりますが、昔の寮生のよしみでどうぞお許してください。

実はあの日、土壌汚染検査名目で解体が始まるのではないかと、当会の10人ほどで旧体育館の前に集まりました。事前に桃井事務局長を通じて原田理事長と湊学長に面談を申し入れましたが、原田理事長は「大学に来られない日」であり、湊学長は「1分たりとも時間がない」とのことで願い叶わず、せめて文書でと、用意して出かけたのです。お読みくださったものと存じます。

旧体育館はすでに工事用フェンスでぐるりと仮囲いされ、2年前の塔解体時と同じ本囲いのフェンスが正面をすっぽり覆ってありました。小雨を避けて8号館からその姿を皆で黙って見つめているときに手渡されたチラシに「28日12:30～食堂小ホールにお集まりください。学長に説明を求めます」とあります。せっかくの機会なので学生さんと一緒にお話しをうかがえるものと考え、小ホールに急ぎました。

しかし、私が席につこうとしたときに、卒業生がいては説明会を中止するとの湊学長の声が耳にとびこんできました。学生さんにご迷惑が及ぶのをおそれて、すぐに外に出ましたが、その際、学長は「卒業生に対してはあらためて説明の場を設けるから」と言われました。連日解体工事が進んでいる模様で、早くにその機会を設けていただきたいのですが、いつごろになりますでしょうか。ご多忙のところ誠に恐縮でございますが、ご連絡くださいまし。ご指定の日時に万障繰り合わせて参上いたします。

90周年の記念に製作された写真集を拝見する機会がありました。部室として埃にまみれて粗雑に扱われていたころの姿が見違えるほど綺麗に清掃されて、専門家のカメラで美しく表現されていることにほっと致しました。焦茶色で統一されたシックな内装、キュビズムの特徴がみえる欄間、黒光りする簡素で優しい階段の手すり、堂々たる暖炉等、廊下の空間や細部にもしばし見とれ、それらがもう地上に存在しないことに胸が潰れる思いでした。この美しさが永遠に消されたことは痛恨の極みでございます。

そして正面玄関脇の銘板に思わず見入りました。「東寮」編の冒頭頁のほか、16頁と48頁にも出ています。「東寮卒業生有志」とありますが、あの文章を書

いたのは私です。銘板をデザインし発注のお世話をなされたのは当時の寮監名古屋則子さんです。費用は有志がバザー等で得た収益をあてました。そんないきさつも多くはご存じないでしょう。この写真集を、寮を限りなく懐かしむ者たちが入手できますよう、代金や送料、申込み先等をお知らせくだされば幸いです。

小ホールを埋めた大勢の学生の前で、学長自らお約束くださいました「卒業生への説明の場」を早急に設けてくださいますよう、重ねてお願い致します。写真集の件とあわせてのご返事をお待ちしております。

2009年5月31日

東京女子大学レーモンド建築 東寮・体育館を活かす会
代表 藤原 房子